

新潟県ミレニアム美術展

—新潟県出身画家を中心に地元画家との共同展—

●二〇〇〇年十二月十三日(水)～十八日(月)

●新潟市民芸術文化会館 ギャラリー(四階)

主催 にいがた県民教育研究所

一、趣旨 新潟県出身画家と地元画家を中心にした現代芸術の鑑賞機会を提供するとともに、画家と市民の交流を促す。会員制の「にいがた県民教育研究所」は新潟県に即した教育・文化に関わる良質の情報を会員に提供することを第一義的な経営的な義務と考えてきた。研究所は今回の美術展開催の意味を次のように考えた。

① ミレニアムを記念して、すべての県民にむかって新潟県に即した上質の芸術とはなにか、を絵画を通して見ていただく。学校教育にも資する。

② これを機会に、主として中央ではたらく県出身画家と地元画家および一般市民との交流を促進する。

③ 研究所の研究・活動領域を芸術教育(創造・享受・保存)の分野に広げる契機にする。

以上の趣旨に、日頃から故郷新潟県の文化環境に並々ならぬ関心をいただいていた鳥居敏文画伯が強く賛同され、画壇の長老としての画伯の広い人脈を通じて、多くの県出身画家の賛意を得ることができた。さらに画伯周辺の画家たちの協賛するところとなった。